

いいたん 飯南



いinanちょう

飯南町広報

平成19年5月21日 No.29



5月号

特集

人口減少に取り組む

町のうごき・まちの話題・お知らせなど

田植えを楽しむ子どもたち(志々小 学校田)

Uターン者に聞きました

町内にはUターンされた方が約200人います。今回はその中から、次の方に「飯南町に住んで思うこと」を聞いてみました。



柴田和幸さん(八神:川東)

1年前、家業の運送業と豆腐屋を継ぐため、16年振りに大阪から帰ってきました。驚いた事は、道や家が変わっていた事でした。田舎暮らしに当初は戸惑いましたが、今では慣れてしまい、不便を感じません。それどころか、周りから優しく声を掛けてもらえ、地域の方とのふれあいが心地よいです。また、食べ物も空気が美味しい!(星もきれい!)「結婚しろ」と耳が痛いほど周りから言われるので、お嫁さんを頑張って探します。もちろん、家業も頑張ります。



稲尾睦頼さん(野曹)

平成17年9月から飯南町に住んでいます。京都府亀岡市で父と酪農業を営んでいましたが、この町でも牧場を経営しています。町の印象は、雪が多いことです。ただ、私の牧場の乳牛は、北海道生まれなので、町の涼しい気候は、牛にとって最高の環境です。ほぼ毎日仕事をしているので、あまり不満はありませんが、お店の数が少ないので、買い物に不便に感じます。今後は、研修生を1人受け入れ、3人で仕事をしていく予定で、53頭いる牛を80頭くらいに増やし、牧場の規模拡大を考えています。



岸みのりさん(頼原:町区)

美郷町からこの町に来て、19年が経ちました。今ではすっかり飯南町民となり、家族と元気に暮らしています。飯南町のイメージは、とにかく雪が多いことです。ただ、除雪がしっかりされており、それほど不便ではありません。地域の方は、出雲弁が混ざっているせいか、とても穏やかな印象を受けます。町で不満な面は、職場が少ないことです。職場が多いと、帰る人も増えると思います。この町は、合併して2年ですが、それぞれの地域性が強い印象があります。地域の良さを理解しあえば、とてもいい町になると思います。



平野隆也さん(上来島)

長崎県出身の私が飯南町に来て、3年目を迎えました。ケーブルテレビでの仕事を通じて、多くの方に出会い、町の歴史や文化にふれることで、この町は第2の故郷と思っています。住んでいて感じることは、地域が一体となって、古くからの伝統行事や新たな取り組みなど、様々な活動をされていることです。小さな町ですが、皆さん一人ひとりの活気があふれる町だと思います。個人的には、交通機関が充実し、お店の営業時間がもう少し長ければ、より住みやすい町になるような気がします。

特集 人口減少に取り組む



申請手続き
役場窓口へ備え付けの申請書に必要な書類を添えて、飯南町定住支援センターへお送りください。

助成の種類・内容 下表の通りです。
助成金には、それぞれ対象者の制限を設けています。
詳しくは飯南町定住支援センターへお問い合わせください。

定住・雇用の促進を助成します

定住や雇用を促進するための具体的な取り組みとして、19年度から次のような助成を行います。

種類	内容	金額
住宅建築・購入助成金	定住等希望者が飯南町内で住宅を新築、改築または購入する場合、借入金利子額の一部を補助	・借入金の利子相当額(上限50万円まで) ・1世帯に1回の助成
空き家改修助成金	「空き家バンク」に登録済みの住宅を所有者が改修する場合、借入金利子額の一部を補助	・借入金の利子相当額(上限20万円まで) ・1件に1回の助成
産業体験助成金	(財)ふるさと島根定住財団の産業体験者が、引き続き町内で農林業等の体験を行う場合に助成	・月額5万円(最大1年間交付) ・1世帯に1回の助成
技術取得・研修助成金	新技術取得や資格取得研修に要する経費に対し、その一部を補助	・経費の2分の1以内(上限50万円) ・1人に1回の助成
新規創業等助成金	新規創業等により建築された建物、または事業拡大により増築された建物の固定資産税相当額を助成	・固定資産税相当額を3年間交付(総額100万円まで)



定住に関するお問い合わせ先

飯南町定住支援センター(政策推進課内)

TEL76・2214

※夜間・休日受付TEL76-2770(FAX兼用)



情報提供をお願いします

町では、今後も積極的な定住対策を進めていきます。町民の皆さんからも、ご意見ご提案をお待ちしています。ご家族やご近所で、Uターンに関するご相談や情報提供もお待ちしています。お気軽にお問い合わせください。

定住支援情報のホームページをリニューアル

飯南町ホームページの「定住情報」をより充実したものに変更しました。今回紹介した内容はもちろんですが、今後も多くの情報を随時紹介していきます。※新しいホームページの更新日は、6月1日(金)を予定しています。

ホームページアドレス <http://www.iinan.jp/>



人口減少に取り組む



平成17年1月1日の合併により誕生した飯南町は、合併当時6265人であった人口も、今年5月で5962人まで減少しました。このまま推移すると、平成27年には5200人まで減少する見込みです。この状況が続くと、集落活動の維持が困難となり、農林業や商工業にも深刻な影響を与え、町の活力も著しく低下します。

このようなことから、町では昨年度から『定住対策』を重点プロジェクトとして位置づけ、「定住推進計画」の策定や「空き家バンク制度」の設置を行っています。今年度からは、更に具体的な事業に取り組み、活力あるまちづくりを進めていきます。

空き家バンクはじめました

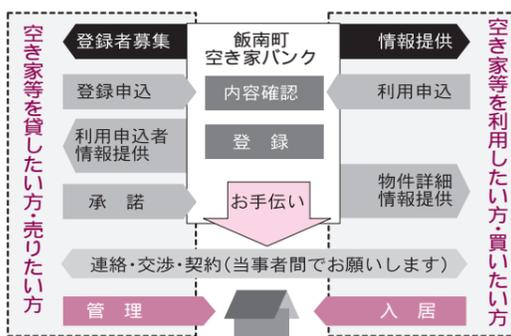
飯南町では、高齢化に伴い空き家が増え続けています。空き家をそのまま放置すると、地域の人口が減り、活力が低下するだけでなく、景観上や防犯・防災面でも問題となる可能性があります。

そこで、増え続ける空き家を有効活用しようと、昨年度から、飯南町空き家バンク制度を設置しています。

この制度は、空き家を借りてほしい「貸してもよい」という方に登録いただき、利用希望者に情報提供を行うものです。空き家を貸借することで、様々なメリットも考えられますので、空き家をお持ちの方は、ぜひご登録ください。

空き家を貸借して考えられるメリット

- 所有者の方には…
- 人が住むことにより、建物や庭などの荒廃を防ぐことができます。
- 一定の家賃収入が見込めます。
- 地域の方には…
- 定住希望者が住むことにより、地域に新しい力や風を



飯南町空き家バンクの仕組み

取り込むことができます。人が住むことにより、景観が維持され、防犯・防災対策上も有効です。

定住交流会

Uターン者と地元住民との交流の場として、「定住交流会」を毎年不定期で開催しています。飯南町での暮らしについて思うこと、困っていることなど、みんなで語り合ってみませんか。開催日は文字放送等で紹介しますので、ぜひご参加ください。

来て、見て、感じて。飯南は自然王国

ぼたんまつり2007 in 飯南

5/3(木) 5/6(日)

飯南町の花「ぼたん」が育てられている赤名観光ぼたん園で、今年も「ぼたんまつり」が盛大に開催され、会場は連日多くの人出で賑わいました。

今年も昨年より1週間早い開催日程で、はじめは開花した花もわずかでしたが、大型連休に合わせるかのように、色とりどりの「ぼたん」が花びらを広げ始め、訪れた方を楽しませていました。

メイン日の6日は、ぼたん園横に完成した「赤名ふれあい公園」を中心にイベントを開催しました。あいにく小雨が降る中での開催でしたが、多くの方に足を運んでいただきました。

今年もテント市だけでなく、ステージイベントの出演者も全員が地元の方ということもあり、例年よりいっそう地域に密着したイベントとなりました。

日本民謡朝歌会



飯南音楽同好会



フォトコンテストの表彰



地元のヒーロー「イソガシシジャー」

みんなの憩いの場、交流の場として

赤名ふれあい公園が完成

赤名観光ぼたん園横に「赤名ふれあい公園」が完成し、ぼたんまつりの開催に合わせてオープニングイベントを行いました。

この日は竣工の後、「テープカットや「くすだま開き」が行われ、集まった関係者や地元の方々と、公園の完成を祝いました。

イベントには、地域の保育所児童も参加しました。児童らは一緒に植栽をした後、歌や銭太鼓を披露して、イベントに花を添えていました。



地域の交通安全を願って



頼原中学校

小中学校が様々な交通安全活動を実施

4月から5月にかけて、町内の保育所や学校では、交通安全に関する様々な活動が行われています。

赤来中学校は、雲南警察署から今年度の自転車マナーアップモデル校に指定され、4月27日に委嘱式が行われました。これは、同警察署が毎年、自転車のマナーの向上と事故防止を図ることを目的に、モデル校を指定しているものです。同校では、全国に誇れる学校となるよう、積極的に取り組まれます。

赤来中学校



赤名小学校



赤名小学校児童による交通安全パレード

5月14日には、赤名小学校児童による交通安全パレードが行われました。鼓笛隊の軽快な演奏にあわせ、児童はプラカードを手に赤名連坦地を行進し、沿道で手を振る地域の皆さんに交通安全を呼びかけました。

4/22(日)

第11回志々公民館まつり

志々公民館まつりは今年で11回目を迎え、さつき会館に地域の皆さん約140人が集まって開催されました。



志々公民館は、人と人との出会い、地域と地域のふれ合いを大切にして活動しています。今年のもつりも、Uターン者のリレトークや講演会、文化グループの発表などがあり、会場が一体となって、みんなで盛り上げる楽しいイベントとなりました。

「ぶなの里」うぐいす茶屋でイベント



5月の大型連休前半は好天に恵まれ、「ぶなの里」「うぐいす茶屋」は、多くの人出で賑わっていました。「ぶなの里」では、店頭

に「ちびっ子集まれ」と題したイベントを開催されました。訪れた子ども達は、竹馬や一輪車、やまめのつかみ取りなどを楽しみ、田舎を満喫している様子でした。

なつかしい故郷でのひととき

広島赤来会総会

広島赤来会総会は、毎年ぼたんの咲くこの季節に、飯南町で開催されています。今年も「憩いの郷衣掛」で会員の皆さんなど約60人が参加して、盛大に開催されました。



飯南町男女共同参画計画を策定



近年、私たちが人間性豊かな社会として確かなものにするために、男女がお互いの生き方、考え方を認め合い、共に責任を問う社会の形成が求められています。その実現に向け、様々な法整備や救済システムの確立が進められてきました。

しかし、男女の役割を固定的にとらえる意識は根強く、それに基づく社会の慣行や雇用における男女格差など、未だに多くの問題を抱えているのが現状です。これらは構造的な問題であると同時に、社会的問題としてとらえ対処する必要があります。

町としては、男女共同参画の形成を「まちづくりの最重要課題」と位置づけ、『飯南町男女共同参画計画』を策定し、積極的に取り組むこととしました。

【飯南町男女共同参画計画】
男と女がともにいきいき輝くまちづくりをめざして

お互いが等しくその人権を認め合い、性別にかかわらず、対等のパートナーとして参画し、その個性と能力を十分に発揮して、喜びも責任も分かち合い、いきいきと輝くまちづくりを目指します。

計画の期間
平成19年度～平成28年度までの10年間

計画推進の基本的視点

- 基本的視点1 「個」の尊重**
「個」の尊重は、男女平等の根底をなすものであり、性別・人種・民族・障害の有無・社会的立場・信条などにかかわらず、人間としての尊厳を等しく認め合うことです。
- 基本的視点2 男女平等な参画の推進**
性別に起因する偏見や差別は、私たち一人ひとりの意識や価値観の中に内面化され、また、社会の中に構造化され文化的・社会的につくられた性別として、社会における男女の平等な参画を妨げる一因となる場合があります。様々な分野において、男女の平等な参画を進めるには、このような社会システムや価値観を見直し、偏見や差別を解消していくことが大切です。
- 基本的視点3 男女のパートナーシップの確立**
男女がそれぞれ自立した個人として、自己の意思と責任において自らの行動を選択し、お互いの多様な生き方を尊重しあいながら、確かなパートナーシップを築いていくことが大切です。
- 基本的視点4 協働による男女共同参画社会の実現**
男女共同参画社会の実現は、行政の力だけでは達成できません。住民一人ひとりと事業所など、すべての人の共通理解のもと、相互に連携し協力して取り組むことが大切です。

飯南町男女共同参画計画は、役場各窓口または町ホームページで閲覧できます。 URL <http://www.iinan.jp/>

平成19年度 飯南町住民提案型事業の募集を開始

「飯南町住民提案型事業」は、地域資源を活かした新たなコミュニティビジネスや、地域活動の事業化など、地域課題の解決に向けた積極的な取り組みを支援しようと、昨年度から始めたものです。

昨年度は6団体(7事業)の事業を採用しましたが、今年度も引き続き募集します。

皆さんから、地域の特性を生かした「アイデア溢れる事業」の提案をお待ちしています。

提案型事業には次の2種類の部門があります

- 企画・研究部門**
 (助成率10分の10、最高10万円)
 住民自らが実施するまちづくり事業に関する調査・勉強会の開催・計画づくりなど
- 【H18実績】**
 地域マップ作成、竹の子集荷体制の確立
実践活動部門
 (助成率8分の10、最高50万円)
 まちづくりに熱意やアイデアをもつ住民が自主的に企画実践する事業
- | | | |
|---------|-----------------------|---------------|
| 【H18実績】 | 銀山街道ポランテア養成事業、山野草園の開設 | 賀田城山セラピーロード整備 |
| お問い合わせ | 自治振興課 | |
| 頼原地区担当 | 7 2 0 3 1 1 | |
| 赤名地区担当 | 7 6 2 2 1 2 | |
| 来島地区担当 | 7 6 2 3 9 3 | |
| 志々地区担当 | 7 3 0 0 0 1 | |

ふるさとを築いた人々

その8
 明治時代、頼原村の片山茂五郎は日本におけるミネラルウォーターの先駆けとなる炭酸水「琴引泉」を開発・販売しました。今回はその偉業を紹介します。

片山茂五郎

かたやま もつゆ
 天保6年(1835年)、頼原村に生まれた片山茂五郎氏は、塩ヶ口(頼原・上区)から湧出する鉱泉(炭酸水)の効能を見出し、産業の発展に貢献しました。

この鉱泉は、現在も宇山川下流に湧出場所が残っていますが、昭和27年の水害までは、周辺に数カ所にわたって湧出していたそうです。



琴引泉のラベル(頼原片山氏:蔵)

製鉄業などに関わる事業家の当主となった茂五郎氏は、この鉱泉に注目し、明治13年、内務省大阪司薬場に成分の分析を依頼しました。

その結果、重炭酸ナトリウム・重炭酸カリウムなどの含有量が多いことが分かり、当時の記述では「弱」(「濃」)と記述されています。

塩ヶ口の炭酸水はその後、明治14年ドイツで開かれた万国博覧会に出品され、世界稀有の銀泉なり」と褒賞を受けるに至りました。続いて、明治23年に東京で開かれた第3回国内勧業博覧会では、有功賞を受賞しています。

片山氏はこの鉱泉を利用して、明治16年に湯治場を開きました。その薬効の名前は高く、近郷の人々をはじめ、県外からも多くの湯治客で賑わったと伝えられています。

明治23年頃からは、この炭酸水を瓶詰めにして出荷する「琴引泉」という会社を設立し、大阪に取次所を設け、「琴引泉」として販売を始めました。

日本における市販のミネラルウォーターは、明治17年の「平野水」がその初めといわれているそうです。片山氏の事業も随分、先駆的な取り組みであったことが伺えます。

また、地下から採取した天然水を、現在では一般的に「ミネラルウォーター」と呼んでいますが、この呼称を市販の水に用いたのは片山氏の「琴引泉」が最初ではないかと考えられています。そういった意味では、日本のミネラルウォーターの元祖と言えるかもしれません。

湯治場と「琴引泉」の販売は、昭和初期に終わりましたが、塩ヶ口の鉱泉は、昭和41年から、町民休養センター「琴引荘」に利用され、観光産業発展の一翼を担いました。現在は、「頼原温泉リフレッシュセンター」の浴場の源泉として受け継がれています。

俳句短歌

- 琴峯華俳句会** (花(桜) 会員作品抄)
- * 散り初めし枝垂れ桜に佇づみぬ 石田シヅカ
 - * 城山はライトで花の舞ふ絵巻 奥野 王貴
 - * 熱き茶を飲む老し身の花痕れ 垣内 良野
 - * ひとひらが花見舟に舞い落ちぬ 片山 素文
 - * 墓地に咲く初桜とて見上げどり 庄司あさの
 - * 山寺の古木桜も満開に 林 勝子
 - * 嬾やかに野点一服花万葉 原 コウ
 - * 二分咲きの桜並木の道続く 張戸ユキ女
 - * 候補者の手に手を振る花の中 政本 進美
 - * 満開の花に黄砂の容赦なく 森 征子
 - * 桜咲き励まし祝う一年生 門所 詠子
 - * 思い切り手足伸ばして花痕れ 垣内 峯雅

赤名短歌会

- 四月例会詠草
- * 病みて居し春が月日に春畑の玉葱葱と草が締め込む 安部 教子
 - * 佐久耶比売の春のころもと干すこと 峠の径の山桜花 岩佐 恒子
 - * シヤガールの「人魚の港」玄関に主人なき家底なく冷ゆる 源 光子
 - * 天井と飾り立てる指まつつ開病生活今日で幾日 本間 麗子
 - * 山畑に薯を植えつつ鶯の初音を聞き真似をするなり 日高美代子
 - * ねむらぬ夜に短歌の三つ四つきたりこんばんいと夜も良しとす 門所 詠子
 - * 向う屋に留守居の如くさくら咲く五の帰りに待たれどいつ 難波 幾子
 - * 苗床の焼き土つくる工場よりま白き蒸気息吐くこと 石田フクエ
 - * 天候の異変に戸惑う桃さくら雪を受けたり四日五日に 三島 久恵
 - * 花びえに上着重ねて馬鈴薯と二人で植えるは何年ぶりか 貝森フミエ
 - * 久しぶりに妻と日向に若草を枕にうきうき春のあたかし 澤田 勝登
 - * 見の寝顔朝の光に眺めつつその母育し日々を想ひぬ 佐々木りく子
 - * 親が子を子は親を危む世の荒み手だてなきかや春當はげし 中村三四二

施設入所、3ヵ月を超える入院
20歳未満は除く、障害年金を受給
している(20歳以上は除く)場合等は、
受給資格がありません。

日常生活において常時介護
を要する程度の障害(精神また
は身体)がある方に支給される
手当です。(20歳未満は障害児福祉
手当)

特別障害者手当 障害児福祉手当

対象児童の施設入所、障害年金
を受給している場合は、受給資格
がありません。

- ☆手当額(月額)
 - ▽1級……………50750円
 - ▽2級……………33800円

障害児の父母等がその障害
児(20歳未満)を養育するときに
支給される手当です。

特別児童扶養手当

各種手当を詳しく紹介します

児童扶養手当

父母の離婚などにより父親
と生計をともにしていない児
童の母等、児童18歳未満を養育
している方に対し、児童の健や
かな成長を願って支給される
手当です。

- ☆手当額(月額)
 - ▽全部支給41720円(月額)
 - ▽一部支給9850円

第2子には月額5000円、
第3子以降には1人につき月
額3000円ずつ加算となり
ます。

対象児童が施設入所している場
合や、母または養育者が公的年金
を受給することができる場合等は、
受給資格がありません。

今回紹介した手当制度は、そ
の他にも対象要件や所得制
限等がありますので、申請され
る前に一度ご相談ください。



お問い合わせ・申込み先 保健福祉センター TEL72-1773 来島保健センター TEL76-3800

飯南町福祉事務所

私たちの地域を紹介します

第13回

佐見

59世帯・191人



秋の収穫祭などのイベン
トを盛大に開催していま
す。子どもから高齢者ま
で、地域のみんが参加
して、楽しく活動してい
ます。

春の泥落と
しや桜の手入れ、

林業の振興に
より、一層豊
かな地域の育
成を図ること
を目的として、
昭和63年2月
に発足しました。



佐見青空市場

「良い物を安く消費者に」を
モットーに、地域で育てた新
鮮な野菜、手作りの漬物、花や
木芸品などを提供しています。
毎週土日と祝日に、国道54
号沿いのプレハブで営業して
います。「青空市」と書かれ
た旗が目印ですので、ぜひ一
度お立ち寄りください。

農事組合法人「大安伸」
佐見地区の農業に関して、
一体的な農業を営んでいます。
組合員は41人で、平成15年に
設立しました。
昨年度は、住民提案型事業
のひとつ「こだわりの創作の
会」として地酒造りをはじめ
ました。私たちが作った酒米
を使った地酒を、多くの方に
味わっていただくとともに、
この取り組みが地域の活性化
につながる事を期待していま
す。

こんにちは中山間地域 研究センターです



放牧している羊たち

保育所児童が羊の毛刈りを体験

4月25日(水)

4月25日、さつき保育所児童(12
人)による、志津見イベント広場横
の道路法面に放牧していた羊2頭
の毛刈りを体験しました。
児童たちは初めて触れる羊の暖
かさを感じながら、ハサミで毛を
刈る体験に感激した2時間を過
しました。



法面の除草は「羊」に
お任せ!!

羊を放牧して、中山間地域
に多い法面の除草作業の省力
化と合わせて、景観保全対策
も行う実証試験を飯南町と中
山間地域研究センターで行い
ました。

羊は牛と比較して軽重で、
また穏和な性格である
ことから、傾斜地法
面を壊すことな
く放牧が可能です。
また、小面
積の場所でも
電気柵を活
用しての放牧
ができます。

「羊」で地域活性化を!!

今回、志津見での実証を契
機に、飯南町内に羊放牧が広
まり、羊のおかげで美しい景
観が保全され、更には、羊し
活用した地域特産物(羊肉、毛織
り製品)が生まれればと期待し
ています。

AED(自動体外式除細動器)を 設置しました。

4月から中山間センターの
受付にAEDを設置しました。
心臓が停止した場合に使う
救命機器で、一般の方でも使
うことができます。
県内でも設置施設が増えて
きています。

ポピー祭 イベント情報



6月中旬になると、志津見の谷間に広がる広大な
花畑には、赤や白のさまざまな色を付けたポピーが
咲き乱れます。
ポピー祭当日は、バンド演奏やダンス、やまめの
つかみ取りなどの楽しいイベント、地元有志による
特産品販売などを予定しています。

- 日時 6月10日(日) 10時~15時
- 会場 東三瓶フラワーバレー
- お問い合わせ 自治振興課志々地区担当 TEL73-0001

飯南高校創立60周年記念事業 中山間地の高校教育を考える講演会

飯南高校創立60周年記念事
業の一環として、中山間地の
高校教育を考える講演会」を
開催します。
中山間地の高校は今、少子
化による生徒数減少のため、
存続が危ぶまれる状況です。
講演会では二人の講師をお
招きして、高校存続の重要性
と存続のための方策」を、地域
の皆さんと一緒に考えていき
ます。

- 講師 錦織良成さん 映画監督
- 代表 白い舟「うん、何?」
矢野 仁さん
- 日時 6月16日(土)
10時~12時30分
- 会場 飯南高校体育館
- お問い合わせ 飯南高校 76-2333

『生命地域』シンボルマークを募集します

飯南町は、小さな田舎からの“生命地域”宣言を基本理念として、豊かな自然を活かしたまちづくりに取り組んでいます。この“生命地域”を普及・啓発していくことを目的として、シンボルマークを募集することといたしました。皆さんから“生命地域”をイメージした多くの作品をお待ちしています。

中国山地の中央に位置する山々、神戸川の源流、斐伊川・江の川へ注ぐ清流など、飯南町は水(自然)の循環の源にあり、生命の源となっている『生命地域』です。

募集締切 7月2日(月) 当日消印有効

応募方法

住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記のうえ、次のものを封書に入れ、郵送または役場各窓口へ提出してください。

応募作品(次のいずれか)

・白色用紙(A4)に描いたもの ・電子データ(JPEG形式でCD-Rに保存、A4サイズに出力したものを添付)

作品の簡単な説明文(作品の意図等)

何点でも応募可能(ただし、用紙1枚につき1点) 自作・未発表で第三者の権利を侵害しないものに限る

発表・表彰

厳正な審査により入賞作品を決定します。結果は本人に通知するほか、町のホームページ等で発表し、別途表彰式を行う予定です。

・最優秀賞 1点(賞金5万円、町特産品)

・優秀賞 2点(賞金1万円)

作品の取り扱い

・入賞作品の著作権等一切の権利は飯南町に帰属します。

・応募作品は返却しません。

・応募に際して記載された個人情報については、本募集以外の目的では使用しません。

応募・問い合わせ先

〒690-3513 飯南町下赤名890番地 飯南町役場政策推進課 76・2214 ホームページ <http://www.iinan.jp>



お知らせ INFORMATION

地域の活動レポートを募集

あなたのまち・くらしづくり活動賞

独自の発想により、活発に展開されている地域づくり・くらしづくり・ひとづくり活動の取り組みを募集します。

■ 応募の分野 住民活動分野 食育推進活動部門 子育て支援活動部門 まち・暮らしづくり活動部門
企業の地域社会貢献活動分野

■ 表彰 内閣総理大臣賞(各部門1件) 賞状・記念品10万円相当品
内閣官房長官賞(各部門1件) 賞状・記念品5万円相当品
主催者賞・振興奨励賞 賞状

■ 締め切り 6月6日(水)

■ 発表 平成19年11月上旬

■ 応募方法 各庁舎・支所に備え付けの応募用紙に記入のうえ、別に「応募原稿(レポート4000字程度)」を作成し、送付してください

■ お問い合わせ (財)あしたの日本を創る協会「あなたのまち・くらしづくり活動賞」係
〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-3 市政会館5階 TEL03・3501・8001
ホームページ <http://www.ashita.or.jp/>



悩みがなくなれば心まで快晴。

日本司法支援センター「法テラス」

日本司法支援センター「法テラス」は、法的トラブルを解決するための情報やサービスを、全国どこでも受けられるよう、全国に50ヵ所以上の事務所を置き、業務を行っています。

法的トラブルを解決するのに「どのような方法があるのか分からない」「どこに相談すればよいか分からない」といった時は、「法テラス」までお気軽にお電話ください。

- 情報提供 法的トラブルの解決に役立つ情報の無料提供
- 民事法律扶助 資力の乏しい方のための無慮相談や裁判費用の立て替え
- 司法過疎対策 弁護士がいらないなど法律サービスを受けることが難しい地域での「適切な料金での法律サービス」の提供
- 犯罪支被害者支援 被害者支援に詳しい弁護士や支援団体などに関する情報の無料提供
- 国選弁護関連業務 国選弁護士を確保し、捜査から裁判まで一貫した国選弁護体制の整備
- お問い合わせ 法テラス島根 松江市南田町60番地 TEL050・3383・5500
ホームページ <http://www.houterasu.or.jp/>

土砂災害に 毎年6月は「土砂災害防止月間」です

もうすぐ梅雨の時期です。昨年は記録的な豪雨となり、町内でも大きな被害がありました。もしもの時のために、一人ひとりが土砂災害に備えましょう。

雨の降り方に注意

土砂災害の多くは雨が原因で起こります。1時間に20ミリ以上、または降り始めてから100ミリ以上になったら、十分な注意が必要です。

早めに避難をしましょう

普段から家族全員で、避難場所や避難する道順を決めておきましょう。

緊急時のため、避難用品を準備しておきましょう。

ご近所の皆さんと声をかけあって避難しましょう。単独行動はしないようにしましょう。

こんな前ぶれ現象に注意!

次のような現象を察知した場合は、土砂災害が直後に起こる可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所へ避難するとともに、関係機関へ通報してください。

- ・山鳴りがする ・川の流が濁り、流木が混ざりはじめる。 ・雨が降り続けているのに川の水位が下がる
- ・斜面から水が噴き出す ・地面にひび割れができる ・井戸の水が濁る ・小石が落ちてくる



今月の表紙
5月11日、志々小学校で学校田の田植えが行われました。児童は、地域の老人クラブや婦人会の皆さんから指導を受けながら、昔ながらの田植えを体験していました。児童は、青空の下で一緒に笑っていました。児童は、田舎の醍醐味を、肌で感じている様子でした。



やまひかり		4月届出分	
お名前	親族	お名前	親族
藤原 展般様 (86)	博 (野)	奥田 スエコ様 (88)	恭司 (赤)
山平 勝正様 (68)	太郎 (赤)	大谷 咲子様 (84)	甲斐 (花)
笠岡 ハナコ様 (80)	二一 (上赤)	升田 喬善様 (76)	幹也 (下赤)
那須 愛雄様 (74)	茂基 (八神川)	安部 ノブコ様 (91)	武治 (野)
木村 鶴枝様 (76)	靖 (嶺原敷)	景山 静様 (85)	澄子 (獅)
佐々木 登美子様 (82)	親久 (上赤)		

あこやかに		4月届出分	
お名前	親族	お名前	親族
田部 陽斗様 (8)	弘 (野)	田部 陽斗様 (8)	弘 (野)

「労災かくし」は犯罪です

事業者は、労働者が労働災害にあつて休業・死亡した場合、所轄の労働基準監督署に「労働者死傷病報告」を提出しなければなりません。

労働災害に健康保険は使えない、使わない。

労働災害の受診は労災保険で!!

労災保険の請求手続きについては、まず労働基準監督署へご相談ください。

■ お問い合わせ 出雲労働基準監督署 TEL0853・21・1240

商業統計調査にご協力ください

5月下旬から、調査員が町内の商業事業所に調査票をお届けし、6月1日現在で調査を実施します。

後日、調査員が調査票を受け取りに伺いますので、ご協力をお願いします。 経済産業省・島根県・飯南町

■ お問い合わせ 企画情報室 TEL76・2902

おすすめ 中退共制度

従業員の退職金づくりは中退共で!

- 中退共制度(中小企業退職金共済制度)の特色
- ▽国の制度なので、なので安全・確実・有利です。
- ▽適格退職金制度からの移行先となっています。
- ▽掛金の一部を国が助成します。
- ▽パートタイマーの方も加入できます。
- ▽掛金は税法上、全額非課税になります。
- ▽過去の勤務期間通算や企業間を転職した場合に、通算ができます。
- ▽掛金は、預金口座から振り替えます。退職金は直接退職者に支払いますので、管理が簡単です。

■ 加入の手続き
所定の申込用紙に記入、押印のうえ、お近くの金融機関または委託事業主団体へ申し込んでください。

■ お問い合わせ 中退共退職金相談コーナー(広島) TEL082・240・7151

まちのスケジュール

2007
平成19年

6月

小さな田舎からの「生命地域」宣言 いのち彩る里 飯南町

広報 いのち 5月号

町の人口5,962人(前月比-5人) 男性2,822人 女性3,140人
世帯数2,175戸

日	月	火	水	木	金	土
5/27	5/28	5/29	5/30	5/31	1	2
					<ul style="list-style-type: none"> □ 高校総体～3日 ※ 基本健康診査 (保健福祉センター) ※ 人権相談 (赤名改善センター・保健福祉センター) 	<ul style="list-style-type: none"> □ 町内保育所奉仕作業 ※ グラウンドゴルフ大会 (谷公・赤名山村広場)
3	4	5	6	7	8	9
	<ul style="list-style-type: none"> ※ 健康学習講座 (志公・さつき会館) ※ スマイルりんご (来島保健センター) 	<ul style="list-style-type: none"> □ 雲南市飯南町中学総体～6日 (雲南市・飯南町) ※ 子宮がん検診 (赤名・来島地区) 	<ul style="list-style-type: none"> □ 桜ヶ台保育所保育公開日・食の講座 ※ 結核肺がん検診 (赤名地区) 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 結核肺がん検診 (赤名地区) ※ 行政相談 (赤名改善センター) 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 結核肺がん検診 (来島地区) ※ 行政相談 (赤名改善センター) 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 泥おとし神楽共演大会 (谷体育館)
10	11	12	13	14	15	16
<ul style="list-style-type: none"> ※ ポピー祭 (東三瓶フラワーバレー) 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 基本健康診査 (谷体育館) ※ おしゃべり広場 (保健福祉センター) 	<ul style="list-style-type: none"> □ 頓原小フリー公開日～13日 ※ 基本健康診査 (小田体育館) 	<ul style="list-style-type: none"> □ 来島保育所地域開放日 ※ 軽体操 (保健福祉センター) 	<ul style="list-style-type: none"> □ 赤名保育所保育公開日 □ 雲南・飯南中学陸上大会 (大東ふれあい運動場) □ 頓原小授業公開日 □ 志々小授業公開日 ※ 乳児・1歳6ヵ月児健診 ※ フッ素塗布 (保健福祉センター) ※ 子宮がん検診 (頓原地域) 		<ul style="list-style-type: none"> □ 飯南高創立60周年記念講演会 (飯南高体育館)
17	18	19	20	21	22	23
	<ul style="list-style-type: none"> ※ スマイルりんご (来島保健センター) 	<ul style="list-style-type: none"> □ 飯南町音楽祭 (来島小体育館) ※ 軽体操 (基幹集落センター) 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 自治区長連絡会議 (赤名改善センター) 	<ul style="list-style-type: none"> □ 赤名小授業公開日 ※ 結核肺がん検診 (来島地区) 	<ul style="list-style-type: none"> □ さつき保育所保育公開日 □ 来島小公開授業 ※ 結核肺がん検診 (来島地区) 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 住民交流いちりナイトウォークラリー (志公・さつき会館～)
24	25	26	27	28	29	30
	<ul style="list-style-type: none"> ※ おしゃべり広場 (さつき会館) 		<ul style="list-style-type: none"> ※ 軽体操 (赤名改善センター) 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 胃がん検診 (交流センター都加賀・保健福祉センター) 		

□ 教育 ※ 健康・保健 ※ 文化・体育 ※ その他



決められた日時をお守りください

し尿汲取り日	
頓原地域 ▲72-1401 赤来地域 ▲76-2441	
汲取り地区	汲 取 り 日
頓 原	7日 9日 27日 29日
志 々	12日 14日
赤 名	2日 4日 22日 24日
来 島	17日 19日
谷	4日 24日

※汲取り日が日曜日の場合は前後の日となります。

資 源 物	
収集地域	収集日
頓原	20日 (水)
赤来	27日 (水)

	金属類・粗大物	ガラス類
収 集 地 区	収 集 日	収 集 日
頓 原 連 坦 地	25日(月)	11日(月)
八 神 連 坦 地	27日(水)	13日(水)
志々・頓原の連坦地以外	26日(火)	12日(火)
赤 名 連 坦 地	18日(月)	4日(月)
来 島 連 坦 地	20日(水)	6日(水)
赤名・来島の連坦地以外	19日(火)	5日(火)